

R^{レポート}eport.



EASブラジル人学校の児童によるハーモニカの演奏



ネパールの楽器演奏

とよはし インターナショナルフェスティバル2008 開催しました

11月30日(日)、名豊ビル5階、7階を会場に「とよはしインターナショナルフェスティバル2008」を開催しました。

5階のメイン会場では国際交流団体の活動パネル展を始め、国際交流フォトコンテストが会場に花を添え、ステージでは琴・尺八・三味線、ハーモニカの演奏、フラダンス、津軽三味線、ペルーの歌と踊り、ネパールの歌・楽器・踊り、ジャワ&スマトラの踊り、ブラジル音楽、ブラジルダンスなどで来場者も一緒に盛り上がりました。グルメコーナーにはブラジル・ベトナム・ペルー・タイ・ネパール料理が並び美味しい手作り料理に来場者が舌鼓をうちました。その他、フェアトレードや生け花体験、金魚すくいや習字、凧づくりなど4,000人の参加者皆さんが冬の一日を楽しみました。

今年も多くボランティア、国際交流団体の皆さんのご協力をいただき、大盛況のうちに無事修了することができました。ご来場の皆さん、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

ご挨拶を
いただきました



ナディナ・レフェブレ駐日
ホンジュラス特命全権大使



佐原光一豊橋市長



会場来場者も飛び入り参加してのハワイアンフラ



児童によるジャワ&
スマトラの踊り



桜丘学園の生徒
による金魚すくい



リズムカルなブラジルダンス“アシェー”

第10回 日本語スピーチコンテスト 審査結果

【小中学生の部】

豊橋市国際交流協会会長賞
豊橋市教育委員会賞
特別賞

小出 マユミ 「楽しい六年三組」
ゴメス ガブリエラ 「やっぱり、日本が好き」
椎名 レベッカ 「すばらしい六年一組」



小中学生の部17人、高校生以上の部
9人が出場しました。

【高校生以上一般の部】

豊橋市国際交流協会会長賞
豊橋市教育委員会賞
特別賞

メアリー メイディー バランタ 「全くの新しい世界に飛び込んで」
川本 ケイラ 「一羽の小鳥」
孟 慶洋 「校訓『為せば成る』」

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL.(0532) 56-0766(代) FAX.(0532) 56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

うまいもんや
鯛松

Umaimonoya TAIMATSU



新鮮な地元食材を鍋で楽しむ 和食宴会

〒440-0888 豊橋市駅前大通2-33-1 開発ビルB1F
☎ 0532-52-8601 <http://www.taimatsu.jp>
営業時間/11:30~14:00 17:00~22:30(L.O21:00)
定休日/日曜・祝日

豊橋市国際交流協会会長賞スピーチ



楽しい六年三組

栄小学校6年
小出 マユミさん

(国籍:ブラジル、来日:2000年4月)

私の小学校生活最後のクラスは、六年三組です。このクラスは、最初はみんなまとまりがなく、放課の時間が終わってもお茶を飲んでいる人がいたり、本を読んでいる人がいたり、授業中先生の話を聞かずに話している人がいたりしました。しかし、最近変わってきたことがあります。それは修学旅行が近づいてきた日の学年朝会のことです。先生に、「このままじゃ班別分散の時に時間通りに集まれず、次のことができなくなってしまうぞ。」ということを言われました。そして、「話を聞いていないから、次の行動に移せなくなってしまうぞ。」ということも、言われました。だから私はこのままではいけないと思いました。だからクラスのみんなでは話し合って三つのことを決めました。

一つ目は、「責任を持つ」ということです。私は後期コンピューター委員長になったので、みんなが気軽にこれるコンピューター

室を作ろうとこの時思いました。

二つ目は、「授業中の態度を改める」ということです。私は、今まで友達が発言をしているのに全くそれを聞いていませんでした。だからこの目標をきめたからにはしっかり友達の意見を聞こうと思いました。そして自分自身も発言をしようと思いました。

三つ目は、「時間を意識する」ということです。私は今まで放課が終わっても本を読んでいた。でもこの目標を決めたからには、放課と授業のけじめをつけようと思いました。

しかし目標を決めたのはいいけれど、最初は全く意識できていませんでした。そして三つのことをみんなで呼びかけ合うこと

によって、今までは意識できなかったことが出来るようになりました。でも、まだ先生に認めてもらった訳ではないので、これからたくさん呼びかけをしていきたいと思っています。六年間で一度しかない修学旅行だから、たくさん勉強をして楽しい修学旅行にしたいです。私たちが大人になっても忘れない最高の思い出になったら良いと思います。

最初はまとまっていなかったこの六年三組も今ではだんだん一つにまとまってきています。私はこのクラスのみんなとなら、どんなことも乗り越えていけると思います。六年三組の一員になって良かったと心から思っています。

これでスピーチを終わります。



全くの新しい世界に 飛び込んで

御津高校1年(AFS交換留学生)
メアリー メイディー
バランタさん

(国籍:フィリピン、来日:2008年3月)

ある春の日、熱帯の国から女の子が新しい世界に飛び込んできました。彼女の国には7107の島があり、18の活火山があり、約9千万人が住んでいます。多数のビーチもあり、大抵のビーチの砂は細かくて白く、水はきれいな青色をしています。

女の子は新しい世界では、言葉が全然分かりませんでした。けれど彼女は日々の生活でいろいろなことを覚えました。「まじ、やばい、無理、だら〜。」みなさん、これらの言葉を知っていますよね?

もちろん!彼女は日本にやって来たのです。探検する新しい場所です。毎日、毎日、彼女はきれいな景色や多くのとても優しい人達や興味深い文化に驚きました。

例えば一つ目は季節です。日本には4つの季節があります。春、夏、秋、冬です。彼女の国には3つしか季節がありません。夏、雨季、冬です。冬はあるんですよ!でも雪は降りません。

二つ目は、お風呂に入る時間です。日本では、毎日夜お風呂に入っていますが、彼女の国では、毎日、朝と夜お風呂に入ります。

三つ目は、学校の部活です。日本では生徒は一つの部活を毎日練習しますが、彼女の国では色々な部活を選んで参加できたりします。

4つ目は言葉です。彼女の国の共通語はタガログ語と英語ですが、他にも沢山の方言があります。日本では三河の人と関西の人が話しても通じますが、彼女の国では違う方言は全然通

じません。

彼女はどこから来たと思いますか?彼女はフィリピンから来ました。今彼女は日本語が上手になりました。彼女は本当に幸せです。なぜでしょう?なぜなら彼女は自分の国を紹介することが出来たからです。彼女はフィリピンと日本の色々なことを分かち合うことが出来ました。私もうれしいです。だって、彼女は、私です。はい!私はそのフィリピン人ですよ。私はここにいて楽しいです。

私の長い滞在で、「あの子が大好き、まっかつかの、ポニョポニョポニョ、フィリピンの子」という言葉を学んだことはおいておいて、どこか日本とフィリピンは同じだなあと気づきました。たとえば、日本人と同じようにフィリピン人もとても密接な家族のつながりがあります。家族の大黒柱として、父は尊敬され、最後の決定をし、生活のために一生懸命働きます。母も父もとても愛され尊敬されます。おじいさんとおばあさんは助言者です。彼らの経験は家族にとってとても大切なのです。フィリピンにも年上の人に敬意を払う文化があるので、日本人が「です」や「ます」を使うようにフィリピン人も「ポ」や「オポ」という言葉を使います。

また、フィリピン人は自分の意見を言うとき、友だちを傷つけないように「イヤ」や「だめ」と直接言うことを避けます。日本人と同じようにいつも何かがあったときは助け合います。フィリピン人も平和を愛します。

皆さん、私たちは違う世界に住んで、違う言葉を話していますが、私たちは皆大切なことは、自ら進んで新しいことを受け入れ、学ぶということです!

「おお空 雲は美しく 誰も僕ら ひきとめ しばりはしない、おお空 目が眩むけれど ときめく胸 初めて あなたを見せてくれたの。」

私はこの新しい世界にいることを一生の宝物にします。御清聴ありがとうございました。

ハートにキュン! 親・近・感!



豊橋商工信用組合

理事長 兵藤 俊朗

豊橋市駅前大通三丁目55番地 TEL (0532) 53-2828